

発行 能美市民生委員児童委員協議会
編集 能美市民生委員児童委員協議会広報委員会
責任者 生田 絹代

第21号

こんにちは 能美市民生委員・児童委員です

～いつもあなたのそばにいます～



石川県南加賀保健福祉センター
所長 沼田直子氏を講師にお招きし
「新型コロナウイルスの基礎知識」と
「適切な支援」について学びました。

「開会挨拶をする生田会長」



「能美ふるさとミュージアムにて研修」
(根上地区)



「民生委員・児童委員として平常
時にやっておく避難支援研修」
(辰口地区)



「能美市消防本部
消防指令センター視察研修」
(寺井地区)

民生委員・児童委員・主任児童委員の活動について

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなく（無報酬）、ボランティアとして活動しています。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねることとされており、主任児童委員は、民生委員・児童委員の中から指名され、児童福祉を専門的に担当します。

民生委員・児童委員自身が、自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」として、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認などを行います。また、主任児童委員は、関係機関と区域担当の児童委員との連絡・調整や、活動に対して援助・協力する役割を担います。



参考：政府広報オンラインより図抜粋

お問い合わせは

能美市民生委員児童委員協議会

●事務局
〒923-1121
能美市寺井町8番地1
ふれあいプラザ2F
TEL:0761-58-6200
FAX:0761-58-6250
(能美市社会福祉協議会内)まで

●ホームページアドレス
<http://www.nomi-shakyo.jp/c23.html>



*各地区の民生委員・児童委員、主任児童委員はこちらのQRコードから入りご確認ください。

一人暮らしの高齢者の方々をはじめ、地域の中で日常的に見守りや支援の必要な方々に対して、民生委員・児童委員は、毎年、直接訪問をして近況等の聞き取りをさせていただいております。調査用紙は終了次第、市へ提出致しますが、個人情報となり得る項目が含まれているため、調査の目的をお伝えして同意を得た方々に限り、能美市防災センターに保管された場合、これらの情報が照らされています。例えば、急病で119番へ通報した場合、より迅速に適切な対応が可能になります。

プライバシーの保護について、不安視する声もありますが、救命を目的としたものであり、安全に管理されているので、目的以外に流出する心配はありません。まずは「自分の命を守る!!」という観点に立ち、調査の対象となられた方々におかれましては、今後とも御理解をいただき調査への御協力をよろしくお願い致します。

福祉見守り安心マップは、
能美市防災センター(消防本部)の
緊急対応に役立てられています。



「各地区の民生委員・児童委員活動を紹介します!!」

根上地区

能美ふるさとミュージアムを訪問して 佐々木久美子

コロナ禍で何かと自粛が求められている中で、活動が制限されていましたが、ようやく地区研修として地元の新博物館を訪ねることができました。植輪や六鈴鏡をイメージした建物は想像以上の大きさでとても感動しました。「郷土の豊かな自然と悠久の歴史とともに学び、守り、伝え、より能(よ)き美来(みらい)を育む」ことを基本理念に建設されたミュージアムの各展示コーナーでは眼が釘付けになり、能美市にすることを忘れてしまいました。まだまだこのミュージアムには「限りのない構想」があるようです。

子どもから大人まで楽しめるミュージアム、高齢者のみなさんが昔のくらしを振り返ること(回想法)で元気がもらえる民具の展示コーナー等があり、丁寧に説明を下された学芸員の方に感謝です。

なぜかしらミュージアムを後にしながら誇りのようなものを感じつつ、今後の民生委員・児童委員活動の活力になると確信しました。



▲8月の最終週、根上南部保育園の「ふれあいあいさつデー強化週間」に参加し、園児や引率の保護者と朝の挨拶を交わしました。

一人暮らしの高齢者へティッシュのお誕生日プレゼント

辰口地区

宮竹保育園でのあいさつ運動に参加して

中村 三朗

令和二年八月二十四日から五日間、能美市ふれあいあいさつデー強化週間が実施されました。



園児達は、よちよち歩きの子から年長さんと多才な顔ぶれ。あいさつデー初日は、普段玄関前で声掛けをする人達がいなかったので驚き、親御さんの後ろに隠れてはにかみながら園内へ入る子ども。さすがに年長クラスになると大きな声で「おはようございます」と挨拶。率先して返ってくる声に癒され、園児からパワーをもらい更に気合が入りました。

二日目、三日目になると園児たちと少しずつ顔なじみになり、戸惑いやはにかみも薄れ、明るい笑顔が何よりも我々民生委員・児童委員の励みとなり、今後の活動の糧となると思いました。

五日間を通してのあいさつ運動で、園児達が思いやりを持ち、大きく成長していつてくれる事を願いつつ園を後にしました。

「避難支援研修」を受けて

研修会では、段ボールで出来たベッド、トイレの組立て等を体験しました。その強度に安心し、避難所に集まった方々に自分なりに適切なアドバイスと行動が出来ると思いました。(阿部委員)

- * 平常時の取り組みが大切
- * 支援を必要とする人に必要な支援が届くようにつなぐ活動
- * 見守りあんしんマップの作成が大切であり、重要であると感じました。(本佐委員)



段ボールベッドの組立ての様子

寺井地区

コロナ禍での見守り活動

津田 康則

「コロナ禍で「自粛」「自粛」といわれる中で、民生委員・児童委員は何をすればいいのかわからないのか、生田会長は、「何もしないのではなく、どんな形で、どんな工夫ができるか、各地域で探ってほしい」と定例会で提起されました。それを受けて、各地域の取り組みについて話し合いました。

見守り活動では、ある地域では一人暮らしの高齢者一人一人に向けて、困ったことがあれば遠慮なく民生委員・児童委員に連絡してほしいと手紙を届けたと言われました。ある地域では電話で安否確認をしたが、それでは安心できないので、やはり訪問し、直接顔を見てその思いを聞いてすぐ喜ばれたと言われました。私自身もある高齢者を訪問し、「二三日、テレビとか話していい」との言葉を聞き、胸が痛くなりました。

「コロナ禍によって改めて高齢者の見守り活動や居場所づくりの大切さを実感しました。こんなときだからこそ、何もしないのではなく、みんなで知恵を出し合い、高齢者に寄り添う取り組みを工夫したい」と思います。

ふれあい弁当を配達



1月は福梅も一緒にお届けしました。



▲新生児誕生お祝い訪問▼



寺井地区民生委員児童委員協議会が、民生委員優良活動団体として令和2年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。12月23日市役所にて表彰伝達式が行われ、井出市長より表彰状と記念品が授与されました。(令和元年度：根上地区、平成13年度：辰口地区が受賞)

9月23日のみ地域力強化支援ファンド創設イベント「たすきリレー」が、根上総合文化会館から能美市役所まで約7km、番匠副市長はじめ市内の有志により行われ、市民生委員児童委員協議会の生田会長も自転車で伴走しました。

